様式第３号

事務事業評価表（内部管理事務等）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

１ 事業名	都市計画事務			コード	131201
２ 担当部課	部等	建設水道	課等	都市計画課	作成者 山田　俊

３ 事業概要				
目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち		
	政　策	計画的土地利用の推進	施　策	計画的土地利用の推進
予算科目		都市計画管理事務費、報酬給与費（都市計画総務）	業務委託	一部委託
実施義務		あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
根拠法令		都市計画法		

●事業の実施内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		都市計画法に基づき規制誘導を行う
目的	対象者	市民、宅地開発業者　ほか
	意　図	まちづくりに関する情報提供、適正な土地利用の誘導

５ 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

・岡谷市都市計画情報の提供
・関連協会等負担金　関連２団体に負担金の支払い
・都市計画図等販売　岡谷市全図等販売　計128枚
・都市計画法５８条の２　建築等届出11件
・街路関係証明事務4件
・開発行為等事務　　申請0件、相談1件
・駅南地区及び湊廃川敷地等の管理（障害者優先法に基づき草刈業務発注）
・都市計画審議会の開催（都市計画変更、立地適正化計画）
・都市計画変更（都市計画道路岡谷川岸線）
・立地適正化計画の策定・都市計画に関する基礎調査報告書の策定
・諏訪湖周サイクリングロード基本計画の策定
・「まちづくり連続講座(全２回）」を開催し、まちづくりに対する市民意識の醸成を図った。
・「まちづくりワークショップ」を実施し、市民発意のまちづくりを目指すための話し合いを行った

前年度の課題への対応	特になし

６ ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

区　分		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費		7,474,354	5,329,514	13,043,564	8,506,000
	経常経費	7,474,354	5,329,514	5,245,964	5,902,000
	臨時的経費			7,797,600	2,604,000
	＊臨時的経費の説明				
② 人件費		19,200,000	19,200,000	19,200,000	19,200,000
	正規職員の人数（人）	2.40	2.40	2.40	2.40
③ 合計コスト（①＋②）		26,674,354	24,529,514	32,243,564	27,706,000
	前年度比		92.0%	131.4%	85.9%
	財源内訳 一般財源	22,614,564	24,112,444	28,749,564	26,407,000
	財源内訳 特定財源	4,059,790	417,070	3,494,000	1,299,000
	＊特定財源の説明	県委託金、国庫補助金			
④ コストに関する補足説明		都市計画の推進に要する経費			

イ）負担金、補助金、交付金の状況

［単位：件、円、%］

負担金補助金		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
都市施設協会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	131,700	133,900	125,900	140,000
都市計画協会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	28,000	28,000	28,000	130,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	159,700	161,900	153,900	270,000
	割合	2.14%	3.04%	1.18%	3.17%

●改善の内容（ACTION）

7　具体的な課題と改善

課題	（事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること） 特になし
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 特になし
改善開始時期	

●次年度の計画（PLAN）

8　次年度の方針	継続して実施	9　施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	A